

1 単元名 「販売会に向けて商品を作ろう」

2 単元設定の理由

(1) 学級及び生徒の実態

(2) 単元について

作業学習では「働く」ことを想定として学習を進めていく。普段の学習とは違い、自分の能力に合わせた仕事(学習)を与えられる。「自分がやりたいこと」ではなく「自分にできること」を必要としているので、活動内容・役割分担は教員が決めている。作成した物は「商品」となるため、指示通りに活動すること、丁寧に作業を行うことを意識させたい。

(3) 指導・支援について

本単元では 1 人が 1 つを作るのではなく、布を切る、布を合わせて留める、線を引く、アイロンをかける、ミシンで縫うなど、作業工程を分けて活動を行っている。そのため、作業工程のすべてを行えなくても商品の制作に関わることができる。自分に与えられた仕事を行い、「成功体験」を増やすことで自己肯定感を高めると共に、勤労意欲の向上につなげたい。

3 生徒の実態

4 単元の目標

- ・商品を作成している意識を持ち、丁寧に作業を行うことができる。 (知識及び技能)
- ・活動の報告、支援要求を行うことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- ・勤労意欲を高め、達成感を味わおうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

5 指導計画

	授業目標	授業時数
1	商品の作成	16時間〈本時14／16〉
2	販売会の準備	2時間
3	販売会	2時間

6 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の視点

(1) 主体的な学びの視点

本単元では働くことを目的として学習を設定しているため、「自分がやりたいこと」ではなく「自分にできること」を基準に活動に取り組んでいく。1つの商品を全員で作

っていることを意識させ、連帯感と責任感を持って取り組ませたい。

(2) 対話的な学びの視点

本校の特別支援学級の生徒は、自ら人と関わりを持つことが苦手である。「協力して作業を行う」ことを「同じ活動を行う」と捉えていることが多い。そのため「他者と話す」「他者に伝える」「支援を要求する」ことに大きな課題を感じている。本単元では、グループやペアでの活動を取り入れ、意図的に「話す」「伝える」「相談する」場面を設定し、他者と関わり合うことで対話的な学びにつながると考えた。

(3) 深い学びの視点

作業学習は、生徒の働く意欲を培い将来の職業生活や社会自立に必要な力を身につけることが目的である。本単元で、①商品を作成する②販売し収入を得る③収入を余暇活動の充実に充てることまでを、一連の流れとして体験することで、達成感を味わうことができ、勤労意欲の向上につながると考えた。

7 本時の学習

(1) 共通目標

- ・自分の作業に責任を持ち、丁寧に製品づくりに取り組むことができる。

(知識及び技能)

- ・活動の報告、支援要求を行うことができる。

(思考力、判断力、表現力等)

(2) 個人目標

(3) 展開

配時	学習〈生徒の活動〉	指導・支援の手立て及び指導上の留意点 <input type="checkbox"/> 指導者の指示、声かけ等 <input checked="" type="checkbox"/> 指導の手立て ※評価（観点）	
導入	1 あいさつをする。 2 本時の活動内容を確認する。 3 作業の準備をする。	<input type="checkbox"/> 参観者がいて、普段の授業環境とは異なることを伝える。 <input type="checkbox"/> 本時の自分の活動内容を確認する。 <input type="checkbox"/> 活動に必要なものの準備を指示する。 （ミシン2台、アイロン2台） ※ 必要な物を準備し、報告ができる。（思考・判断・表現）	
展開	4 作業に取り組む。	【主な活動】 ・布に線を引く。 ・布を切る。 ・生地を合わせ、留める。 ・ミシンで縫う。 ・アイロンをかける。 ・布を整える。 ・ひもを通す。	<input type="checkbox"/> 丁寧に作業するように指示する。 <input type="checkbox"/> 活動の報告を行うように指示する。 <input checked="" type="checkbox"/> 個に応じて援助・声かけをおこなう。 <input checked="" type="checkbox"/> 進行状況を確認し、指示をする。 観てほしいポイント①②
		※ 作業を丁寧に行えている。（知識・技能） ※ 活動内容を理解している。（思考・判断・表現） ※ 活動の報告が行えている。（思考・判断・表現）	
まとめ	5 片付けをする。 6 本時のふりかえりをする。 7 あいさつをする。	<input type="checkbox"/> 片付けの指示をする。 <input type="checkbox"/> 作成した物の確認をする。 観てほしいポイント③ <input type="checkbox"/> 本時の活動を振り返り、次時への見通しを持たせる。	

8 本時の評価

(1) 生徒の学習評価

- ・自分の作業に責任を持ち、丁寧に製品づくりに取り組むことができる。(知識・技能)
作業内容や手順が分かり(知識)、丁寧に作業を行うこと(技能)ができるようになったか評価する。
- ・活動の報告、支援要求を行うことができる。(思考・判断・表現)
作業の進捗状況だけでなく、失敗や間違った時、困った時でも報告をすることができるかを評価する。

(2) 教師の指導の評価

ア 授業構成〈指導手順、時間配当、指導形態等〉について

- ・生徒が作業内容や手順を理解できるように、視覚的な支援や適切な声掛けを行うことができたか。(主体的な学び)
- ・グループやペア活動を通じて、他者の意見に耳を傾けること、協力して作業を行うなどの場面を設定することができたか。(対話的な学び)

イ 教師による支援(環境設定、教材教具の工夫)について

- ・生徒の活動が主体的になるように、支援の強度を調節することができたか。(主体的な学び)
- ・意見交換や助言が活発に行われるような、グルーピング、ペアリングがされているか。(対話的な学び)